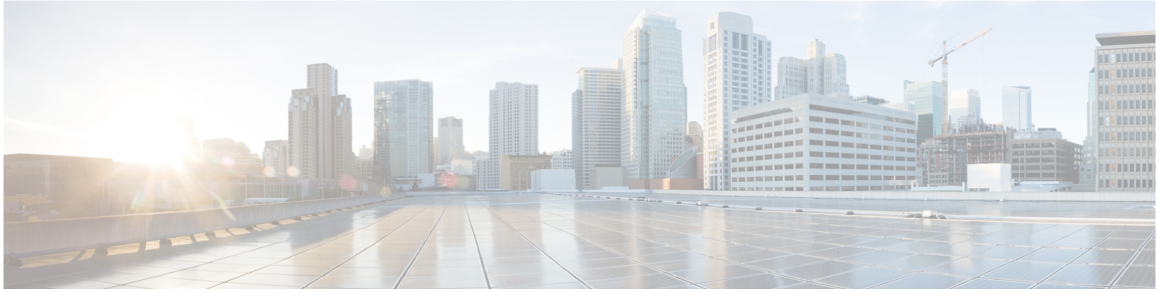

FMC データベースの消去

以下のトピックでは、FMC から検出データを消去する方法を示します。

• FMC データベースからのデータの消去 （1 ページ）

FMC データベースからのデータの消去

スマート ライセンス	従来のライセンス	サポートされるドメイン数	アクセス
いずれか（Any）	いずれか（Any）	グローバルだけ	Admin/Security Analyst

データベース消去ページを使用すると、検出、アイデンティティ、接続、およびセキュリティ インテリジェンスのデータ ファイルを FMC データベースから消去できます。データベースを消去すると、該当するプロセスが再起動される点に注意してください。

注意 データベースを消去すると、Firepower Management Center から指定したデータが削除されます。削除されたデータは復元できません。

ステップ 1 **[System]** > **[Tools]** > **[Data Purge]**を選択します。

ステップ 2 [Discovery and Identity] の下で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [ネットワーク検出イベント（Network Discovery Events）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのネットワーク検出イベントを削除します。
- [ホスト（Hosts）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのホストとホストの侵害の兆候フラグを削除します。
- [ユーザ アクティビティ（User Activity）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザ アクティビティ イベントを削除します。
- [ユーザ アイデンティティ（User Identities）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザ ログインとユーザ履歴データ、およびユーザの侵害の兆候フラグを削除します。

ステップ 3 [接続（Connections）] で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [接続イベント（Connection Events）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続データを削除します。
- [接続の概要イベント（Connection Summary Events）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続の概要データを削除します。
- [セキュリティ インテリジェンス イベント（Security Intelligence Events）] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのセキュリティ インテリジェンス データを削除します。

（注） [接続イベント（Connection Events）] チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンスイベントは削除されません。セキュリティインテリジェンスデータとの接続は、[セキュリティ インテリジェンス イベント（Security Intelligence Events）] ページに引き続き表示されます（[分析（Analysis）] > [接続（Connections）] メニューの下に表示）。同様に、[セキュリティ インテリジェンス イベント（Security Intelligence Events）] チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンス データに関連する接続イベントは削除されません。

ステップ 4 [選択したイベントの消去（Purge Selected Events）] をクリックします。
項目が消去され、該当するプロセスが再起動されます。